

日本における クラスター政策の今後の課題

2013年10月25日

東京大学大学院総合文化研究科

松原 宏

matubara@humgeo.c.u-tokyo.ac.jp

図1: 産業立地政策の変遷 (経済産業省資料をもとに作成)

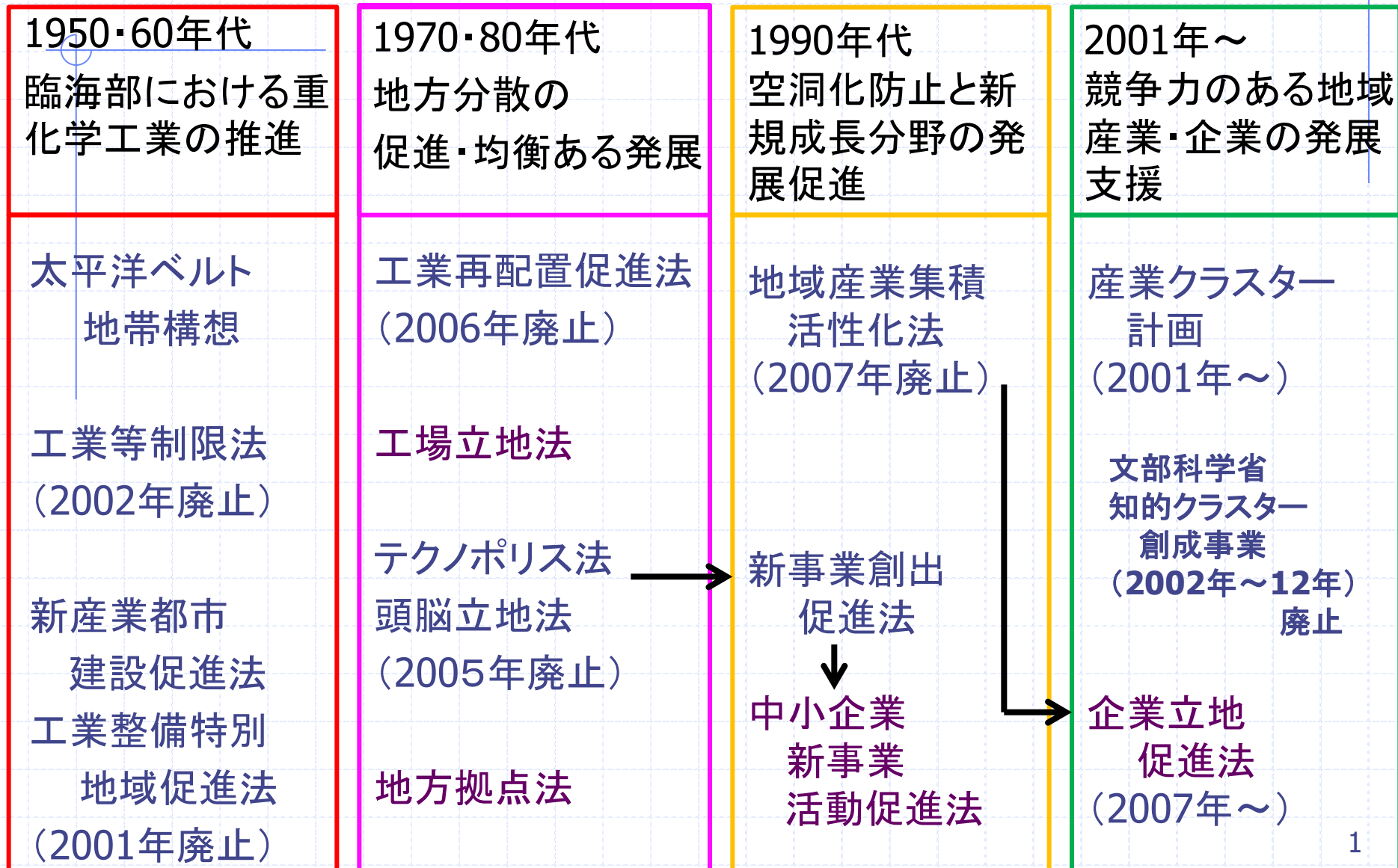


図2: 産業クラスター計画における参加主体の分布状況

(経済産業省資料より與倉豊作成)

凡例

- 北海道ITイノベーション戦略
- 北海道バイオ産業成長戦略
- TOHOKUものづくりコリドー
- 首都圏西部ネットワーク支援活動(TAMA)
- 中央自動車道沿線ネットワーク支援事業
- 東葛川口つくば(TX沿線)ネットワーク支援活動
- 三遠南信ネットワーク支援活動
- 首都圏北部ネットワーク支援活動
- 京浜ネットワーク支援活動
- バイオベンチャーの育成
- 情報ベンチャーの育成
- 東海ものづくり創生プロジェクト
- 東海バイオものづくり創生プロジェクト
- 北陸ものづくり創生プロジェクト
- 関西バイオクラスタープロジェクト
- 関西フロントランナープロジェクト
- 環境ビジネスKANSAIプロジェクト
- 次世代中核産業形成プロジェクト
- 循環・環境型社会形成プロジェクト
- 四国テクノブリッジ計画
- 九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)
- 九州シリコン・クラスター計画
- 九州地域バイオクラスター計画
- OKINAWA型産業振興プロジェクト



産業クラスター計画(Ⅰ・Ⅱ期)の特徴

- ①計画主体・地域: 地方経済産業局・同管轄区域
- ②圏域内部の空間戦略: 必ずしも明確ではない
- ③産業分野: 広範囲、局間の調整はみられない
- ④形成過程: 産学官会員の協議会等の設立→
交流会・セミナー等の開催→マッチング→
新製品開発→販路開拓→クラスター間連携

クラスターの「再定義」に向けた検討課題

1) 2000年代初頭の日本のクラスター政策の検証

(松原編(2013)『日本のクラスター政策と地域イノベーション』などを参照)

2) クラスター政策の国際比較

(フランスの「競争力の極」、韓国の産業団地クラスターなど)

3) 「政策的不整合」の調整

(企業立地促進法、低炭素・震災復興等の各種立地補助金、国際戦略特区、文部科学省のスーパークラスター等との関係)

4) 今後の政策を考える上での新たなアプローチの検討

本報告では、4)を中心とする。

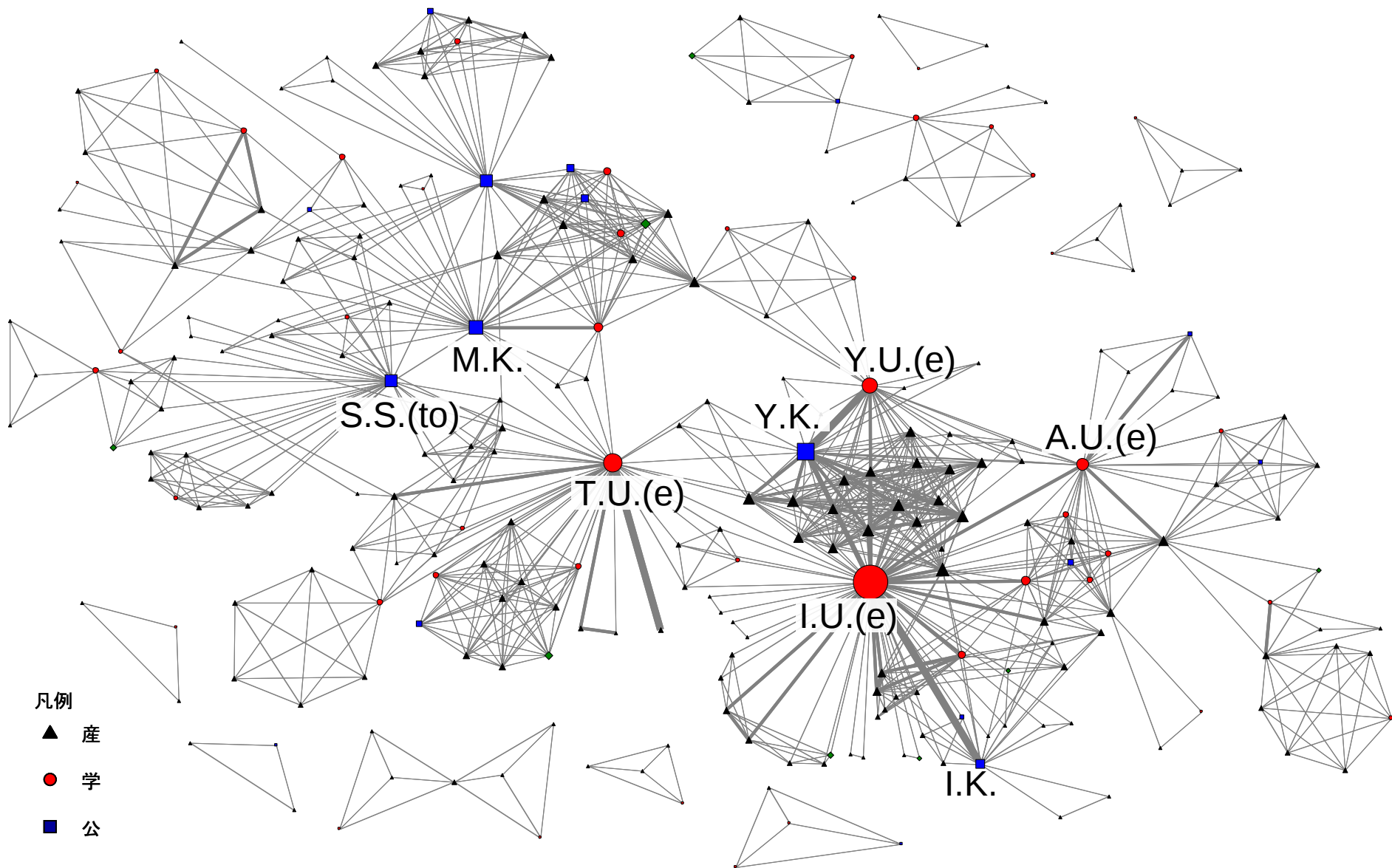


図3-1：研究実施主体間ネットワークの総括図（東北）
 (2001～2007年度 経済産業省 地域新生コンソーシアム研究開発事業資料を基に與倉豊作成)。

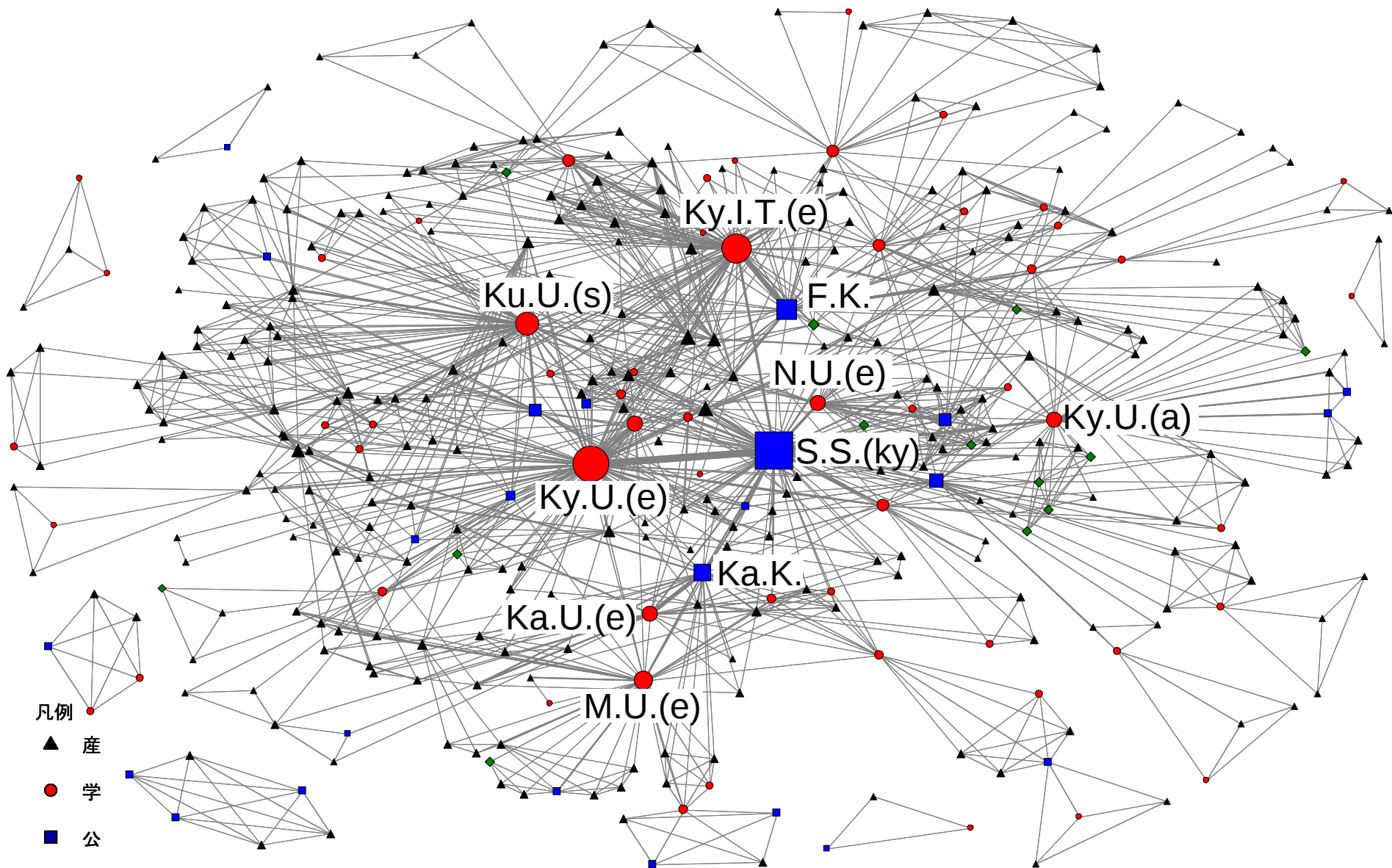


図3-2: 研究実施主体間ネットワークの総括図(九州)

(2001～2007年度 経済産業省 地域新生コンソーシアム研究開発事業資料を基に與倉豊作成).

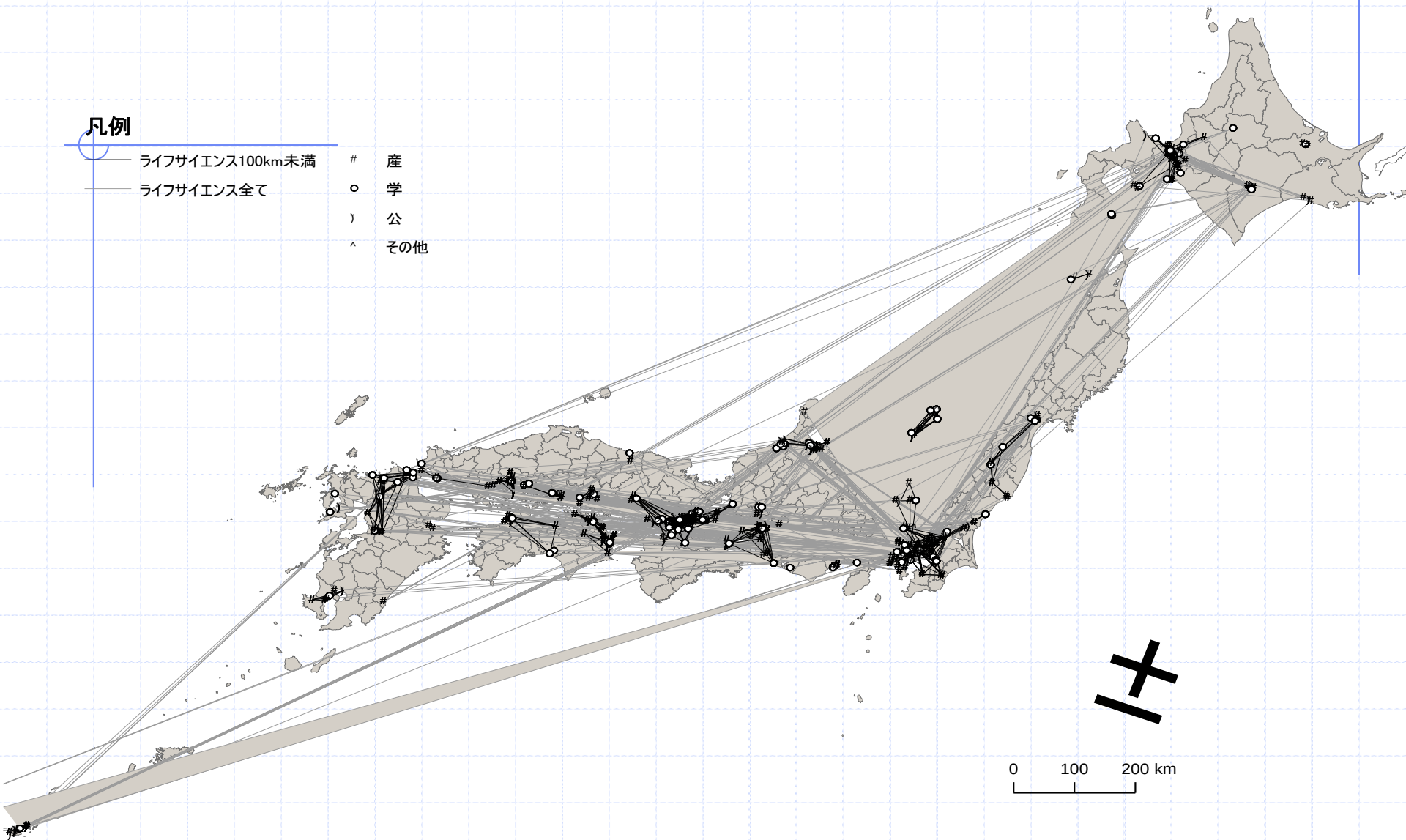


図4-1:ライフサイエンス分野における研究実施主体間ネットワーク

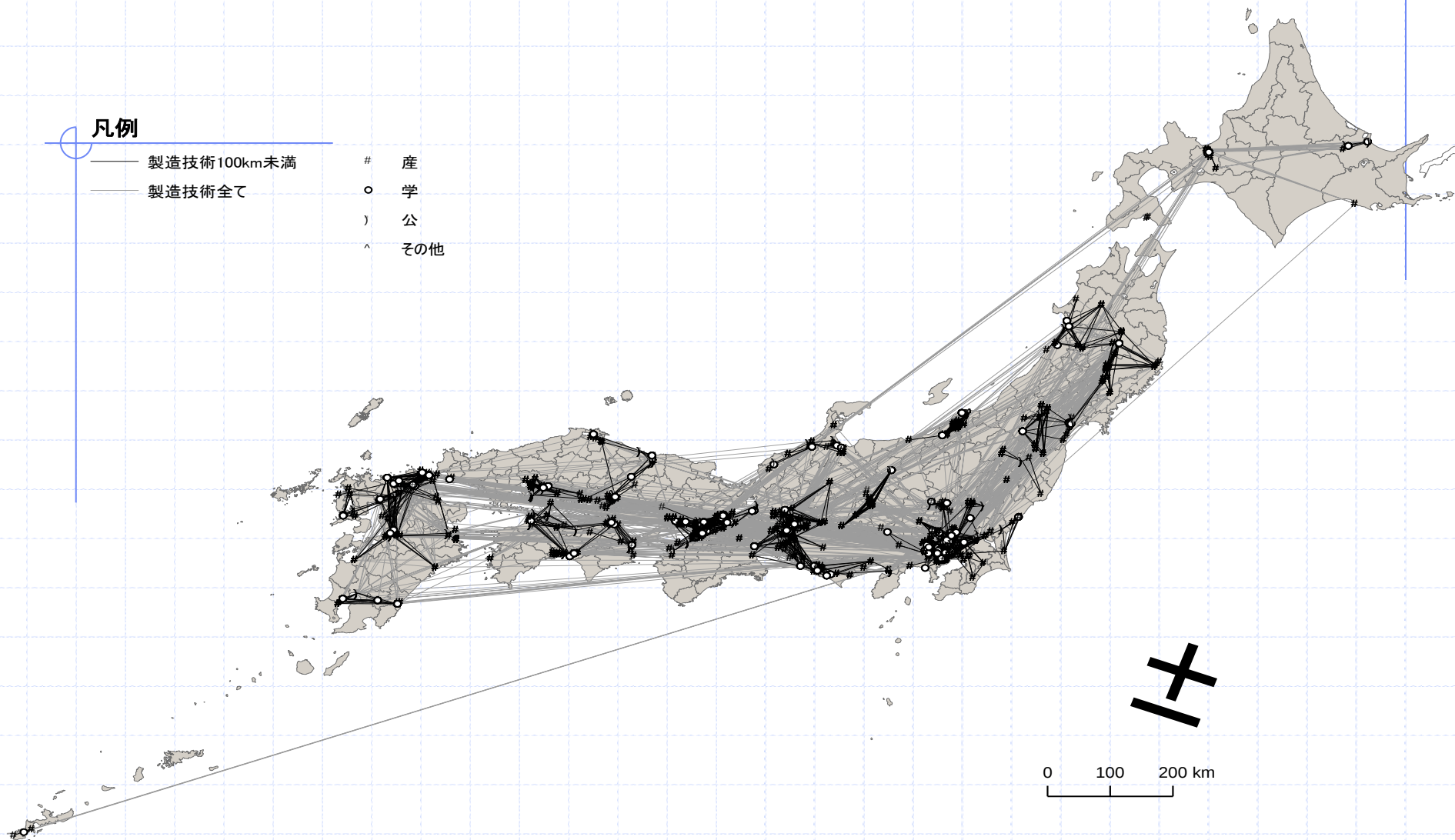
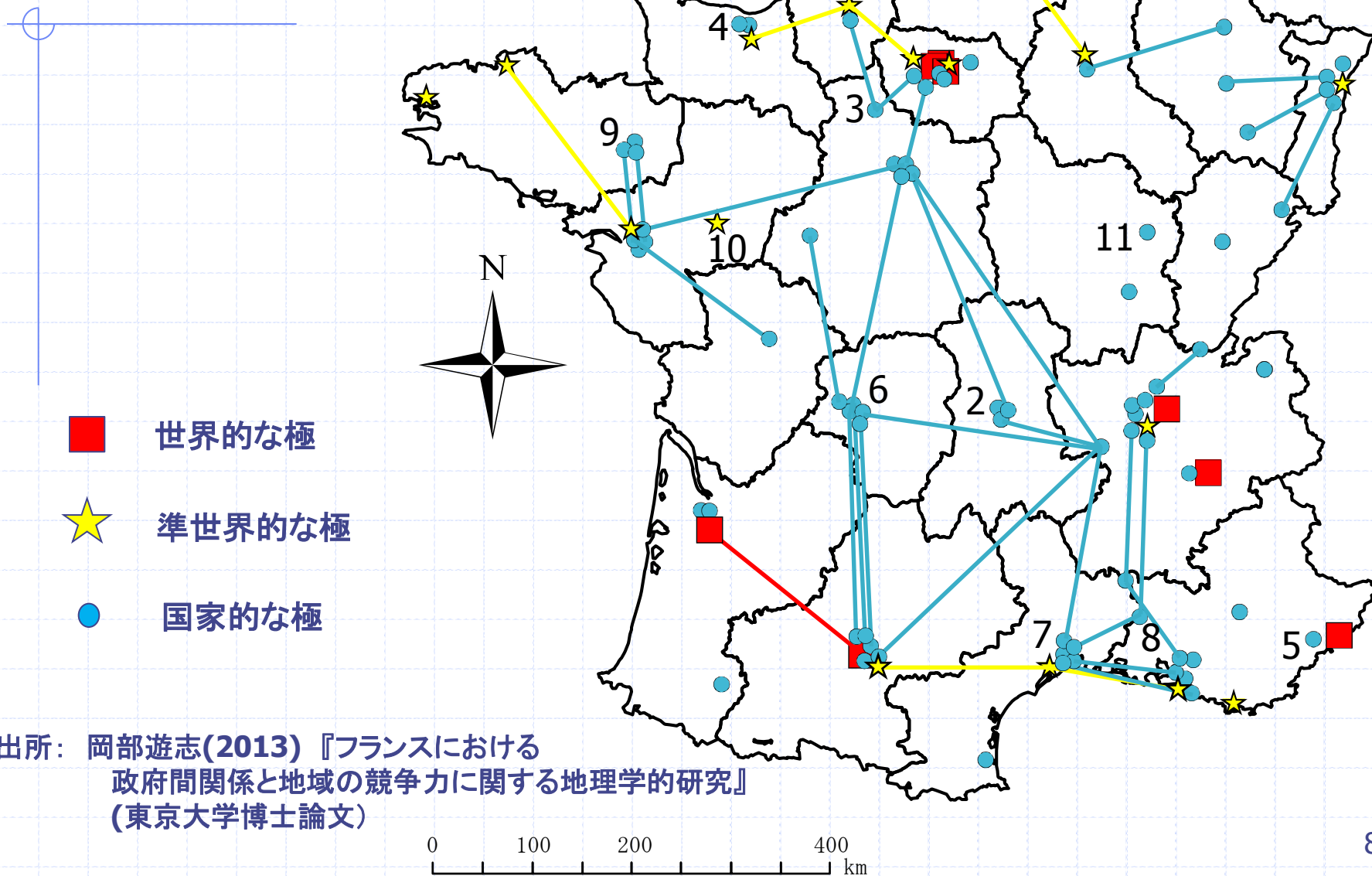


図4-2: 製造技術分野における研究実施主体間ネットワーク

図5:フランスにおける「競争力の極」



出所: 岡部遊志(2013)『フランスにおける
政府間関係と地域の競争力に関する地理学的研究』
(東京大学博士論文)

図5の付表 フランスにおける地域資源を活かした「競争力の極」の事例

	クラスター名	地域名	業種	事業 所数 ※1	R&Dプ ロジェク ト数 ※2	R&Dの予 算(万ユー ロ) ※2	論文 数※2
1	アキメール	ノール・パ・ド・カレ	水産資源の開拓・ 生産・加工	46	37	8266	--
2	シリアル・ ヴァレー	オーベルニュ	穀類生産・加工	35	57	2379	35
3	コスメティック・ ヴァレー	イル・ド・フランス, サントル	化粧品開発	206	46	659	--
4	イッポリア	ノルマンディー	馬関連産業	53	34	2110	131
5	PASS	プロヴァンス・アルプ・ コートダジュール	化粧品・香水	110	25	1288	--
6	ポール・ セラミック	リムーザンなど	セラミック (陶器など)	53	39	4550	--
7	カリミディテラネ	ラングドック・ルシヨン	地中海地域の農産物	69	46	10676	112
8	テッラリア	フランス南東部	地中海地域の農産物	103	54	9369	--
9	ヴァロリアル	フランス西部	農産物生産・加工	179	97	10600	77
10	ヴェジェポリス	ペイ・ド・ラ・ロワール	園芸, 種子, 樹木, ブドウ	412	78	9368	90
11	ヴィタゴラ	ブルゴーニュなど	農産物・食品	133	64	11956	84

※1:2010年の値, ※2:2008~2010年の値を合計したもの

新たなアプローチの探求

- 1) 特定産業の比較的狭い地理的集積(クラスター)の議論から、多様な産業からなる広域圏域での複合集積の議論へ
- 2) 「ジェイコブズ型クラスター」(Cooke, 2010)の議論を参照しつつ、関係的多様性(related variety)や集積間ネットワークの捉え方を検討
- 3) クラスターの進化に関する進化経済地理学の議論(Martin & Sunley, 2011)を参照しつつ、企業と地域の慣性や共進化、経路依存・転換の観点を導入

表1：地域イノベーションの2つのモデル

理論/ フレームワーク	クラスターモデル — Agglomeration	地域イノベーション プラットフォームモデル — Related variety
ネットワークの形態	クラスター内の強い紐帯	弱い紐帯, 地域間の 構造的空隙の活用
社会関係資本	近接した 社会関係資本の接合	地域内外の 多様なグループの連携
知識生産の 二つのモデル	モデル1(サイエンス・プッ シュ型イノベーション) 認知的近接性に基づく 同質分野での産学連携	モデル2(実践ベースの 非リニアイノベーション) 異質・学際的・社会経済的 文脈でのネットワーク化
イノベーションモード	STI(科学・技術・イノベ ーション)モード	DUI(実践・活用・相互交流) モード
集積の区分	同業種集積による 地域的特化の経済	異業種間の波及過程による 都市化の経済

出所: Harmaakorpi, V., Tura, T. and Melkas, H. (2011) pp.560-566の記述と表41-3
をもとに, 松原作成.

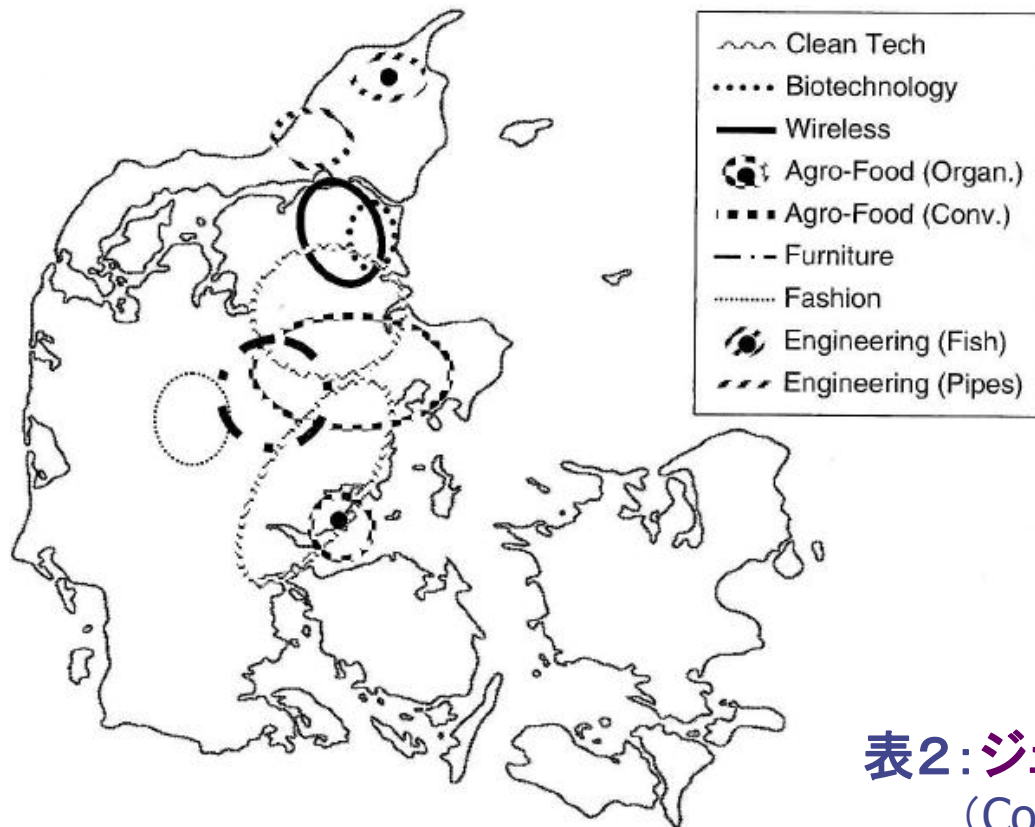


図6:
デンマーク北ユトランドにおける
ジェイコブズ型クラスター
と関係的多様性

出所: Cooke, P. (2010) Jacobian Cluster Emergence, In *Emerging Clusters*, eds. Fomahl, D., Henn, S. and Menzel, M-P, Cheltenham : Edward Elgar, p.31.

表2: ジェイコブズ型クラスターの経路依存
(Cooke, 2010, p.31)

技術	経路依存
クリーンテクノロジー	農業・海洋エンジニアリング(例: 風力発電装置や羽のデザイン)
バイオテクノロジー	無線ICTと医療技術
無線電話	海陸間海洋技術
農業食品(伝統的、集約的)	ユトランドにおける未開地の開拓
有機食品	ユトランドにおける伝統的・集約的食品生産(乳製品)への対抗
家具	手工芸教室とローカルな林業の伝統
ファッション	農家の主婦の技能を活かした手工芸教室
漁業装置と掘削エンジニアリング	漁業・海洋エンジニアリング

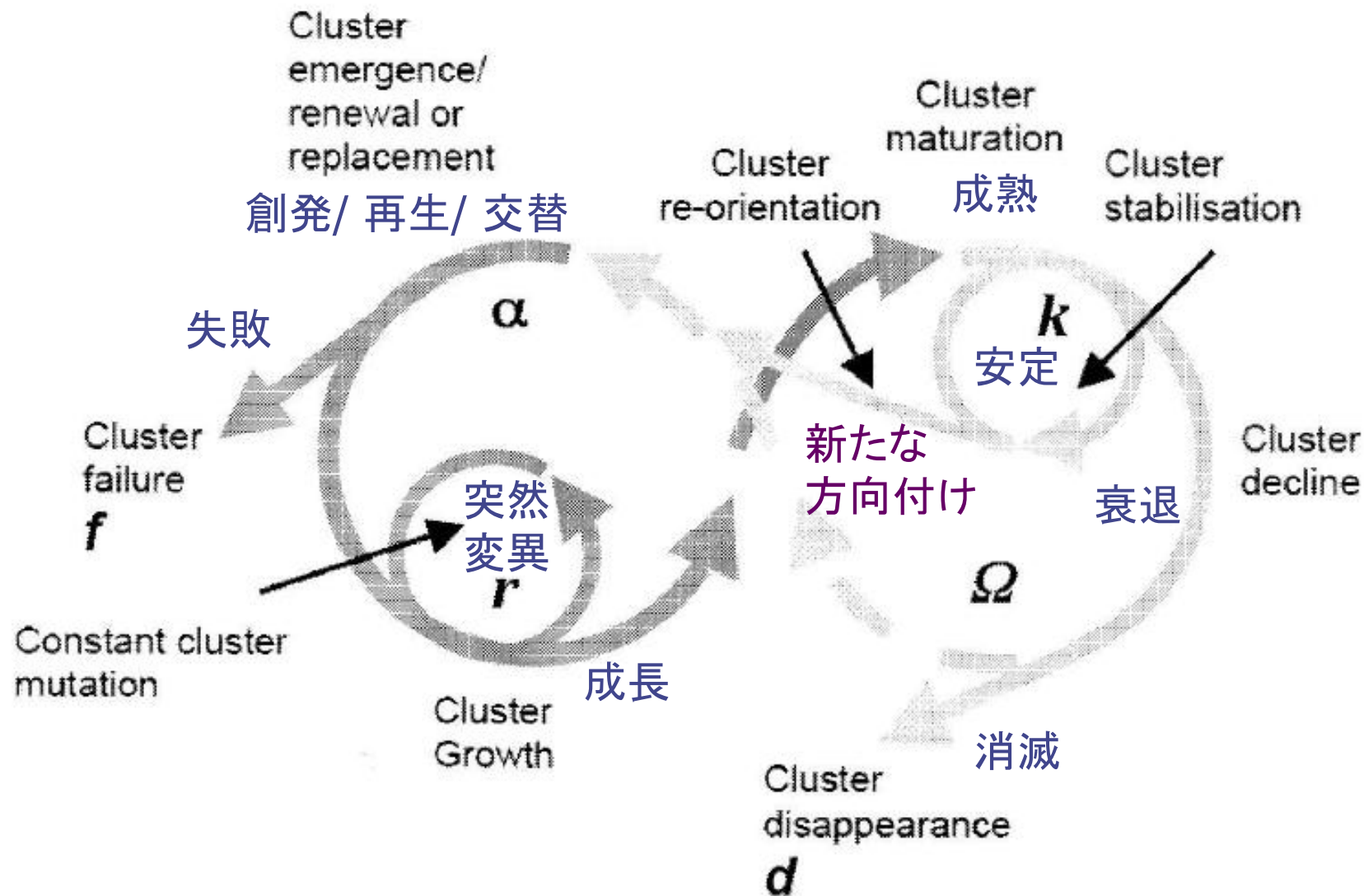
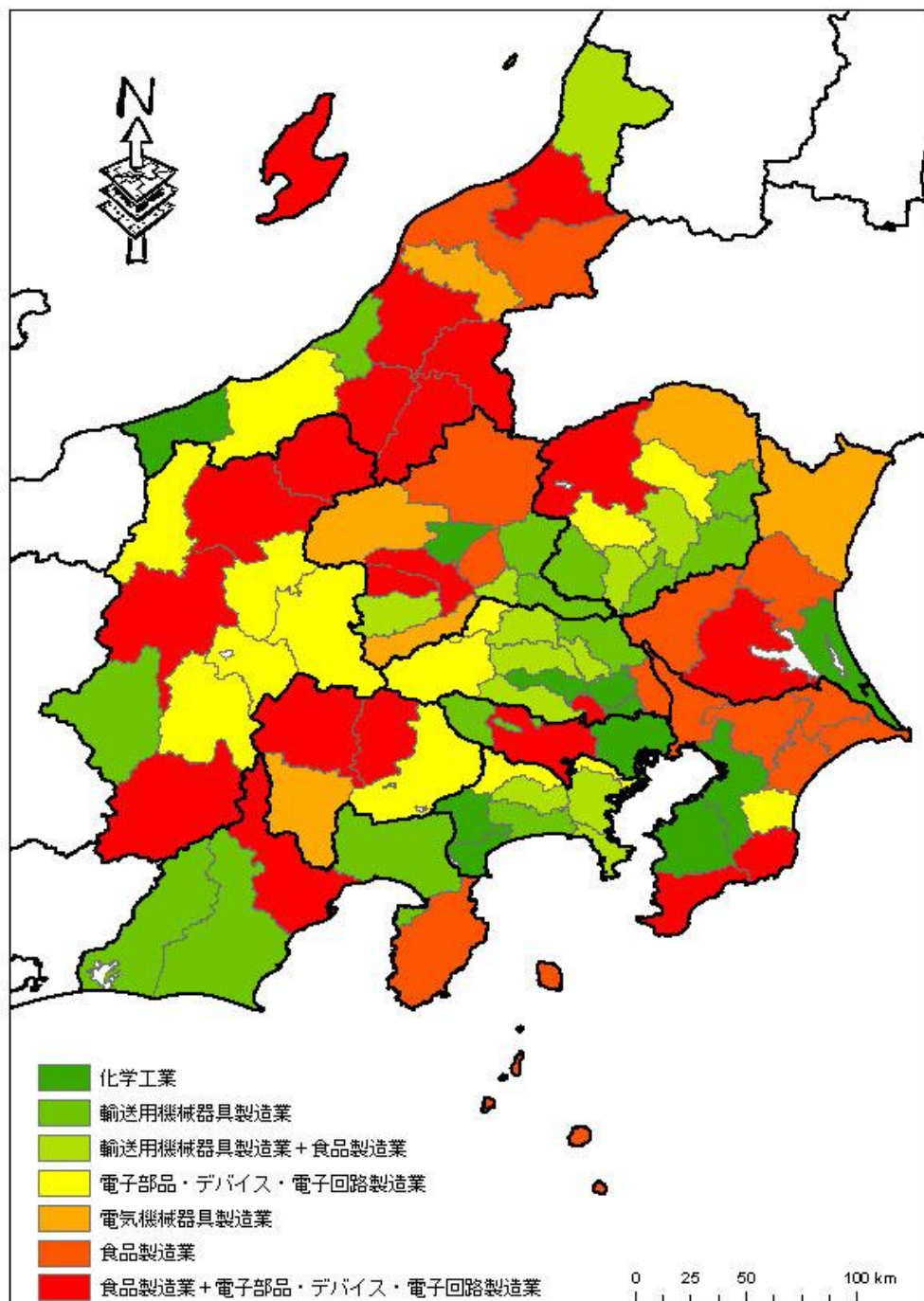


図7: クラスター適応サイクルモデル



分析方法

- ①2009年経済センサスの広域市町村圏を単位に、製造業中分類別の事業所従業者数をもとに業種別の対全国特化係数を算出。
- ②特化係数が1以上の業種をもとに、修正ウィーバー法により、広域市町村圏を特徴づける業種を選定。
- ③選定された業種の組み合わせをもとにクラスター分析を行い、広域市町村圏をグルーピング。

図8 広域関東圏における
複合集積把握の試み

参考文献

経済産業省(2005)『産業クラスター研究会報告書』

経済産業省(2008)『地域イノベーション研究会報告書』

産業研究所(2001)『近畿地域における自律型産業クラスターの創出に関する調査研究』(委託先:日本システム開発研究所)

東北地域クラスター形成戦略懇談会事務局(2006)『東北地域クラスター形成戦略懇談会報告書』

松原 宏編 (2013)『日本のクラスター政策と地域イノベーション』
東京大学出版会.

三菱総合研究所(2007)『クラスター形成促進のための知的クラスターと産業クラスターの連携方策の検討に関する調査報告書』

文部科学省科学技術政策研究所第3調査研究グループ(2010)
『第3期科学技術基本計画の主要政策に関する主要国等の比較』(調査資料 175)